



# 学校だより

令和元年5月31日  
佐渡市立七浦小学校  
学校だより No. 3

## 先人の教えに学ぶ

校長 山口 明美

いつになく暑い日が続いた5月でした。その中で、避難訓練、4～6年生による田植え、JRC登録式、グラウンド整備の奉仕活動、そして運動会と、息つく間もなく教育活動が行われました。子どもたちは、一つ一つの活動に真剣に向き合っていました。田植えは、今年度から取り入れた活動です。橘集落の農村環境保全活動の一環として、学校教育との連携、地域住民との交流を目的としています。当日は、橘集落の老人クラブの皆様をはじめ、多くの地域、保護者の皆様のお力添えをいただきながら田植えをしました。

5月25日（土）は運動会でした。子どもたちは、競技に、応援に、係の仕事にと精一杯の力を出し切りました。その姿はとても爽やかで、微笑ましく、そして頼もしく感じました。盛大な応援をしてくださいましたご来賓、地域、保護者の皆様、本当にありがとうございました。「子どもは地域の宝」という言葉の通りの運動会でした。

学校は、子どもだけでなく私たち教師も成長させてくれます。家庭では親も成長しなければなりません。子育てに悩んだ時、昔から言い伝えられている「アメリカインディアンの教え」は一つの指針となります。いくつか紹介します。

ほめられて育つと、感謝することを知る子どもになる

はげまされて育つと、自信をもった子どもになる

公正な環境で育つと、正義感の強い子どもになる

人に認められて育つと、自分自身を大切にする子どもになる

寛容な環境で育つと、がまん強い子どもになる

許容と友愛に囲まれて育つと、世界中に愛を見つける子どもになる

シンプルですが、子どもをとりまく環境が子どもの人格をつくるということを、的確な言葉で表しています。私たち大人が、どのように子どもに接しているかを振り返りながら、また、新たな教育活動に取り組んでいきます。

